
課題名：同種造血幹細胞移植患者の気分状態と退院時6分間歩行試験との関連について

◆研究の目的と概要◆

当院では、造血幹細胞移植を受ける患者さんの移植後の生活の質の維持および向上を目的に臨床研究を実施しています。本研究の主な内容は、移植前の不安感や抑うつ気分など（気分状態）と、身体活動性やリハビリテーションの効果に関連性があるかどうかを過去の診療の情報を利用して行います。

◆対象となる患者さん◆

- ・2014年4月から、2017年3月までの間に、当院にて造血幹細胞移植の治療を受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

研究対象者背景：性別、移植時の年齢、病名、PS（Performance Status）、既往歴、移植の回数、初再発、治療経過、向精神病薬の処方内容
測定/検査結果：移植前と退院時の6分間歩行試験、POMS（Profile of Mood States）、HADS（Hospital Anxiety and Depression scale）

[用語の補足]

- ・HADS：不安、抑うつを測定する心理検査。
- ・POMS：緊張感、抑うつ、怒り、活気、疲労感、混乱の程度を測定する心理検査。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）からの情報を利用します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

総合診療科 研究責任者 今村 隆

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明